

二〇一四年 四月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

善いことばを口に出せ。悪いことばを口に出すな。善いことばを口に出したほうが良い。悪いことばを口に出すと、悩みをもたらす。

『ウダーナヴァルガ』

※『ウダーナヴァルガ』・・・ブツダが感興（興味がわくこと）をおぼえた時、ふと口にした言葉を集めたもの。

以前、「今月の言葉」で殿村進氏の「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心をうるおす」という言葉を紹介しました。言葉はたった一言で人を勇気づけ、逆に人を傷つけもする・・・。今月のブツダの言葉も、殿村氏の言葉と同様に「言葉を大切にしないさいよ」というメッセージとして受け取ることが出来ると思います。

「悪いことばを口に出すと、悩みをもたらす。」とブツダが述べているように、言葉によって他を傷つけるということは、最終的に自分にもはね返ってきて、結果、自他ともに苦しむことになりかねません。平安学園の三つの大切の一つである「言葉を大切に」ということを踏まえ、普段、口にする「言葉」を見つめ直してみましよう。

今月の聖語

自分の目的を熟知して、自分のつとめに専念せよ。

『ダンマパダ』

※『ダンマパダ』・・・ブツダの教えを集めたもので、人間そのものへの深い反省や生活の指針を示したもの。

今回の聖語で述べられているように、釈尊は目的をしっかりと熟知し、自分のすべきことに専念しなさいと説きます。つつい、怠けて楽な方に流されてしまうこともあるかも知れませんが、今自分のすべきことをしっかりと実行する生活を心がけたいですね。

四月一日から新年度がスタートしました。みなさんも学年が変わり、新しい環境で気が引き締まっていることだろうと思います。気持ち新たに、日々の学習やクラブ活動で、自分の立てた目標や目的をしっかりと熟知して、日々精進していきましょう。ふとしたとき、この言葉通りに自分のすべきことが実行出来ているか振り返ってみましよう。